

2020（令和2）年度 契約実績報告



令和3年5月27日(木)
内閣府遺棄化学兵器処理担当室

2020年度(令和2年度)契約状況について

●事業費計

契約総額：344億3,797万円

予算現額：618億1,124万円

(1)国内調達事業

契約件数：24件(新規案件:17件、継続案件:7件)

契約総額：209億8,274万円

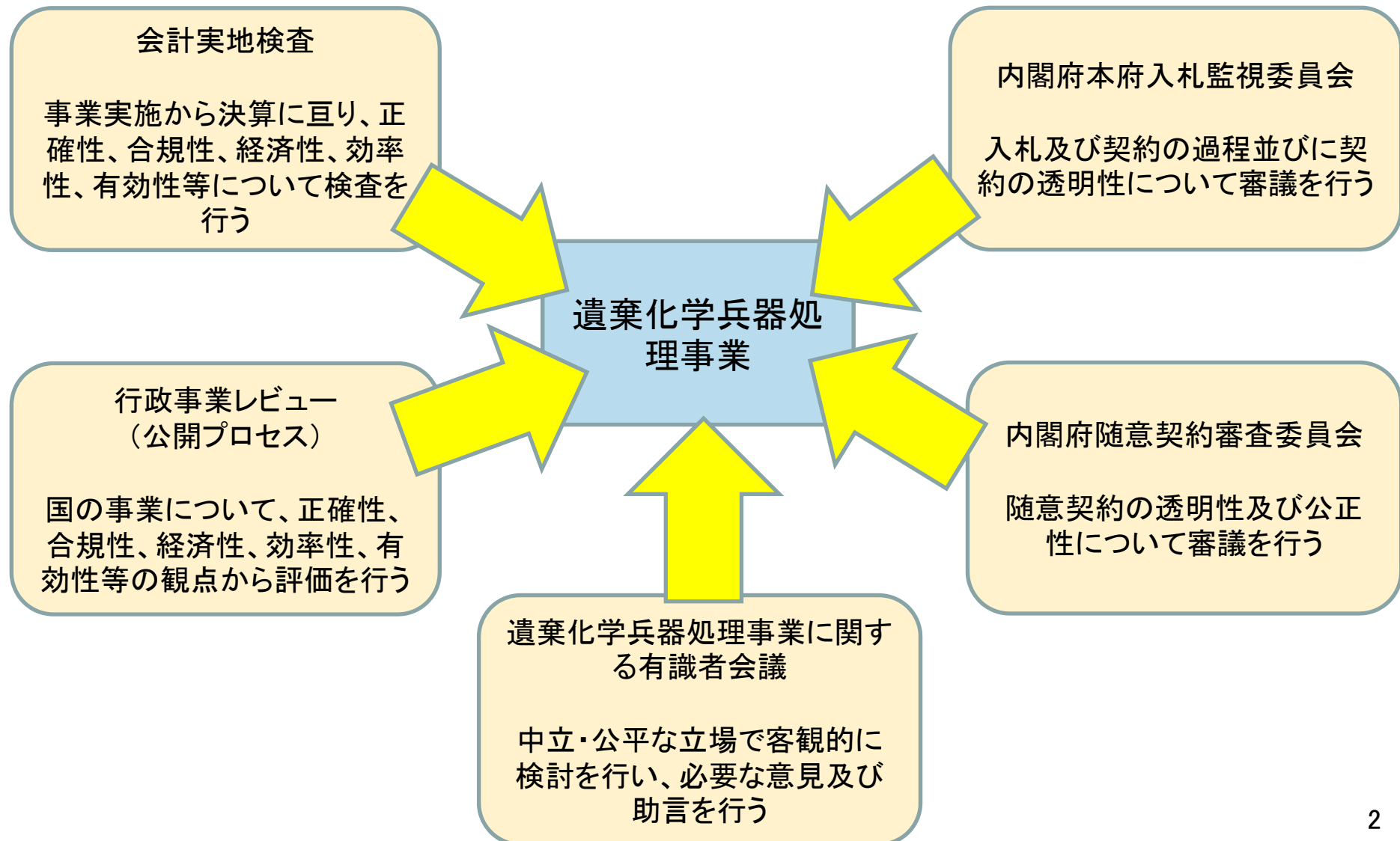
(2)対中要請事業

契約件数：35件

契約総額：134億5,523万円

- 会計法令等に基づき、適切に契約等を締結し、各種のチェックを受けながら事業を実施
(事業のチェック体制については別紙1参照)

遺棄化学兵器処理事業のチェック体制



(1)国内調達事業

○ 2020年度(令和2年度)契約状況 …… 別紙2

(1)契約方式

可能な限り一般競争入札によることとして、令和2年度は17件中12件を一般競争入札により実施。

他5件は、随意契約により実施(理由は、別紙2「契約方式等」に記載)したが、これら随意契約を行う場合は、内閣府随意契約審査委員会の審査を受け、承認を得ている。

(2)一者応札

「行政事業レビュー」の公開プロセスにて、「一者応札が継続する事業の競争性を高めるための取組み」等の指摘を受け、本有識者会議においても以下のような取組みを継続して実施していくべきとのご意見をいただいていた。(別紙3参照)

- ・ 仕様書の標準化
- ・ 入札公告期間の延長
- ・ グループ(共同体)参加の容認
- ・ 遺棄化学兵器処理事業の全体像が把握できる概要資料の配布
- ・ 入札日から履行開始までの期間延長
- ・ 仕様書上に業者間での引継ぎが行われるような記載の追加

令和2年度の一般競争入札は、12件中9件が一者応札であった。

新たな取組みとして、中国における化学砲弾の発掘・回収、廃棄処理事業の履行支援等に係るコンサルティング事業のうち前年度一者応札だった6件について、中国で業務実績を有する者に対し重点的に入札参加を呼び掛ける取組みを実施したが、複数者の応札には至らなかった。

今回、仕様書受領業者にヒアリングを行ったところ、入札参加の判断においては「入札公告期間の延長」、「概要資料の配布」及び「引継ぎの実施」の取組みが有益であったとの回答があったことから相当程度の効果はあったものと思料。また、入札前に提供を希望する情報としては過年度の「成果物」をあげる回答があったところ。

令和3年度は、これまでの取組みを継続するとともに、呼び掛けを行った業者や仕様書受領業者から要望があれば、過去の成果物の開示に取組むこととしており、現在までは入札前に成果物の開示を求める者は見られないものの、令和4年度の入札参加を視野に入れて過去の成果物の閲覧や業務内容の具体的な説明を求める者があったことから相当程度の取組効果は見られるものと思料。

令和4年度は、これまでの取組みを継続するとともに、上記コンサルティング事業のうち平成29年度から令和3年度まで各種取組みを実施してきてもなお一者応札が継続している5件については、新たな取組方策の検討の一つとして、内閣府本府調達改善計画の「一者応札が継続している案件の随意契約への移行等」などを参考にして、公募を行い、要件を満たす者が複数いないことを確認した上で随意契約（公募随契）へ移行し価格交渉を実施することについても検討していく。

2020年度(令和2年度)契約状況(国内調達事業)

No.	契約件名 (新規案件)	契約日	契約額 (総額)	契約相手方	契約方式等
1	中国遺棄化学兵器の発掘・回収、廃棄処理等に関する業務	令和2年4月1日	3,334,154,831円	一般社団法人シーソック	随意契約(公募)
2	河川に水没した遺棄化学兵器の発掘・回収に関する技術的支援等業務	令和2年4月1日	284,913,200円	フジミコンサルタント株式会社、日本海洋事業株式会社	一般競争(一者)
3	中国各地域における遺棄化学兵器移動式処理事業に係る監理支援等業務	令和2年4月1日	734,267,600円	フジミコンサルタント株式会社	一般競争(一者) →不落随契
4	中国吉林省敦化市ハルバ嶺における遺棄化学兵器処理事業に係る発掘・回収事業、廃棄処理事業並びに廃棄物の管理及び処理等に係る事業に関する支援等業務	令和2年4月1日	605,041,800円	マルフジエンジニアリング株式会社	一般競争(一者)
5	中国遺棄化学兵器の発掘・回収及び廃棄処理事業に関する施設等の運営・維持管理支援等業務	令和2年4月1日	418,000,000円	株式会社JPM	一般競争(一者)
6	中国吉林省敦化市ハルバ嶺における遺棄化学兵器廃棄処理事業の大型廃棄処理設備等導入及び施設建設等に関する技術的支援等業務	令和2年4月1日	474,100,000円	株式会社JPM	一般競争(一者)

No.	契約件名 (新規案件)	契約日	契約額 (総額)	契約相手方	契約方式等
7	中国遺棄化学兵器のハルバ嶺事業及び移動式処理事業に伴う環境モニタリング・分析業務に関する支援等業務	令和2年4月1日	155,351,698円	ユーロフィン日本環境株式会社	一般競争(一者) →不落随契
8	中国遺棄化学兵器処理事業における医療関係業務に関する支援等業務	令和2年4月1日	96,800,000円	株式会社メディトランセ	一般競争(二者)
9	ハルバ嶺事業における遺棄化学兵器のX線鑑定装置(1号機及び2号機)及び砲弾管理システムに関する業務	令和2年4月1日 (R2年度3国) <令和3年3月31日変更>	35,053,862円 (601,754,216円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現在の設備を使用する予定であり、既存業務の受託者に委託することが経済的かつ合理的なため)
10	ハルバ嶺事業における化学兵器廃棄設備及び危険廃棄物処理設備の輸送等に関する業務	令和2年4月1日 <令和3年3月31日変更>	1,727,693,112円	株式会社日新	一般競争(三者)
11	令和2年度 松花江(佳木斯地区)発掘・回収事業のうち水中金属物探査に係る国内試験業務	令和2年6月1日	170,500,000円	株式会社ウインディーネットワーク	一般競争(一者)
12	令和2年度 松花江(佳木斯地区)発掘・回収事業のうち改良型潜水工法(覆土除去装置及びエジェクターポンプ)に係る国内試験業務	令和2年6月1日	225,500,000円	株式会社本間組	一般競争(一者)

No.	契約件名 (新規案件)	契約日	契約額 (総額)	契約相手方	契約方式等
13	令和2年度 遼源保管 庫敷地内貯液槽詳細調 査等業務	令和2年8月3日 <令和3年3月31日変更>	191,008,000円	いであ株式会社、大 和探査技術株式会社	一般競争(二者)
14	ハルバ嶺における遺棄 化学兵器廃棄処理事業 の化学兵器廃棄設備に 係る運転等業務	令和2年8月3日 (R2年度3国) <令和3年3月31日変更>	34,387,600円 (4,212,595,600円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現 在の設備を使用する予 定であり、既存業務の 受託者に委託すること が経済的かつ合理的な ため)
15	ハルバ嶺における遺棄 化学兵器廃棄処理事業 の危険廃棄物処理設備 に係る運転等業務	令和2年8月3日 (R2年度3国) <令和3年3月31日変更>	54,999,400円 (1,589,635,898円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現 在の設備を使用する予 定であり、既存業務の 受託者に委託すること が経済的かつ合理的な ため)
16	中国遺棄化学兵器処理 事業における定置式化 学剤等自動検出警報装 置の整備等に関する業 務	令和2年10月1日	4,440,000円	新成物産株式会社	随意契約(当該物品 が著作権等を有する ものであり、受注者の み提供が可能なた め)
17	南京保管庫のヒ素含有 有害廃棄物最終処分業 務	令和2年12月14日	83,963,497円	新成物産株式会社	一般競争(一者)

No.	契約件名 (継続案件)	契約日	契約額 (総額)	契約相手方	契約方式等
18	ハルバ嶺事業における 遺棄化学兵器のX線鑑 定装置(1号機及び2号 機)及び砲弾管理シス テムに関する業務(繰 越)	平成27年4月1日 (27年度5国) <令和3年3月31日変更>	7,529,348円 (1,110,464,480円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現 在の設備を使用する予 定であり、運転を含め 既存業務の受託者に委 託することが経済的か つ合理的なため)
19	中国各地域の遺棄化学 兵器移動式処理業務	平成30年4月2日 (30年度5国) <令和3年3月31日変更>	918,100,360円 (6,338,329,980円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現 在の設備を使用する予 定であり、運転を含め 既存業務の受託者に委 託することが経済的か つ合理的なため)
20	ハルバ嶺の遺棄化学兵 器廃棄処理(制御爆破 方式)事業に関する業 務	平成30年4月2日 (30年度3国) <令和3年3月31日変更>	885,731,420円 (5,257,698,280円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現 在の設備を使用する予 定であり、運転を含め 既存業務の受託者に委 託することが経済的か つ合理的なため)
21	ハルバ嶺の遺棄化学兵 器廃棄処理(加熱爆破 方式)事業に関する業 務	平成30年4月2日 (30年度3国) <令和3年3月31日変更>	580,228,637円 (6,105,280,905円)	川崎重工業株式会社	随意契約(引き続き現 在の設備を使用する予 定であり、運転を含め 既存業務の受託者に委 託することが経済的か つ合理的なため)
22	中国各地域の遺棄化学 兵器移動式処理(高機 動型)業務	平成31年1月8日 (30年度5国)	886,208,750円 (9,863,058,124円)	JFEエンジニアリング 株式会社、 DYNASAFE DEMIL SYSTEMS AB、日興 技化株式会社	一般競争(二者)

No.	契約件名 (継続案件)	契約日	契約額 (総額)	契約相手方	契約方式等
23	ハルバ嶺における遺棄化学兵器廃棄処理事業の化学兵器廃棄設備に係る業務	平成31年4月1日 (R1年度4国) <令和3年3月31日変更>	5,064,882,800円 (16,874,629,400円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現在の設備を使用する予定であり、運転を含め既存業務の受託者に委託することが経済的かつ合理的なため)
24	ハルバ嶺における遺棄化学兵器廃棄処理事業の危険廃棄物処理設備に係る業務	平成31年4月1日 (R1年度4国) <令和3年3月31日変更>	4,009,883,811円 (12,181,330,600円)	株式会社神戸製鋼所	随意契約(引き続き現在の設備を使用する予定であり、運転を含め既存業務の受託者に委託することが経済的かつ合理的なため)

行政事業レビューの公開プロセスにおける指摘事項への取組状況について

- ・遺棄化学兵器処理事業経費について、行政事業レビューの取組の一環として「公開プロセス」が実施された。（平成28年6月20日）

【行政事業レビュー】

- ・国の事業について、各府省自らが点検・見直しを行う取組で、各事業について、予算が前年度にどこに支出され、どのように使われたかといった実態を把握し、事業の自己点検を行う。この自己点検のうち、外部の視点を活用して、公開の場で行うのが「公開プロセス」。

【公開プロセス】

- ・各府省と行政改革推進会議が外部有識者を選び、事業の担当部局と議論し、その模様をインターネット中継等で公開するものです。議論の結果は、外部有識者の共通意見である「取りまとめコメント」として、課題、改善点等が取りまとめられ、各府省は、その内容を次年度予算の概算要求等に反映。

【遺棄化学兵器処理事業経費の選定理由】

- ・事業の規模が大きく政策の優先度の高いものであったため。

<公開プロセスの評価結果> 事業内容の一部改善

<取りまとめコメント>

- ・事業全体が特殊であることに加えて中国国内で行われているという点でも非常に特異な事業であるが、少なくとも現時点で日本企業が受注している部分については、市場での競争性を通じて効率性が追及できるように手立てを講じる必要がある。また、コストの中身についてもできる限り見直しを図る努力が必要である。

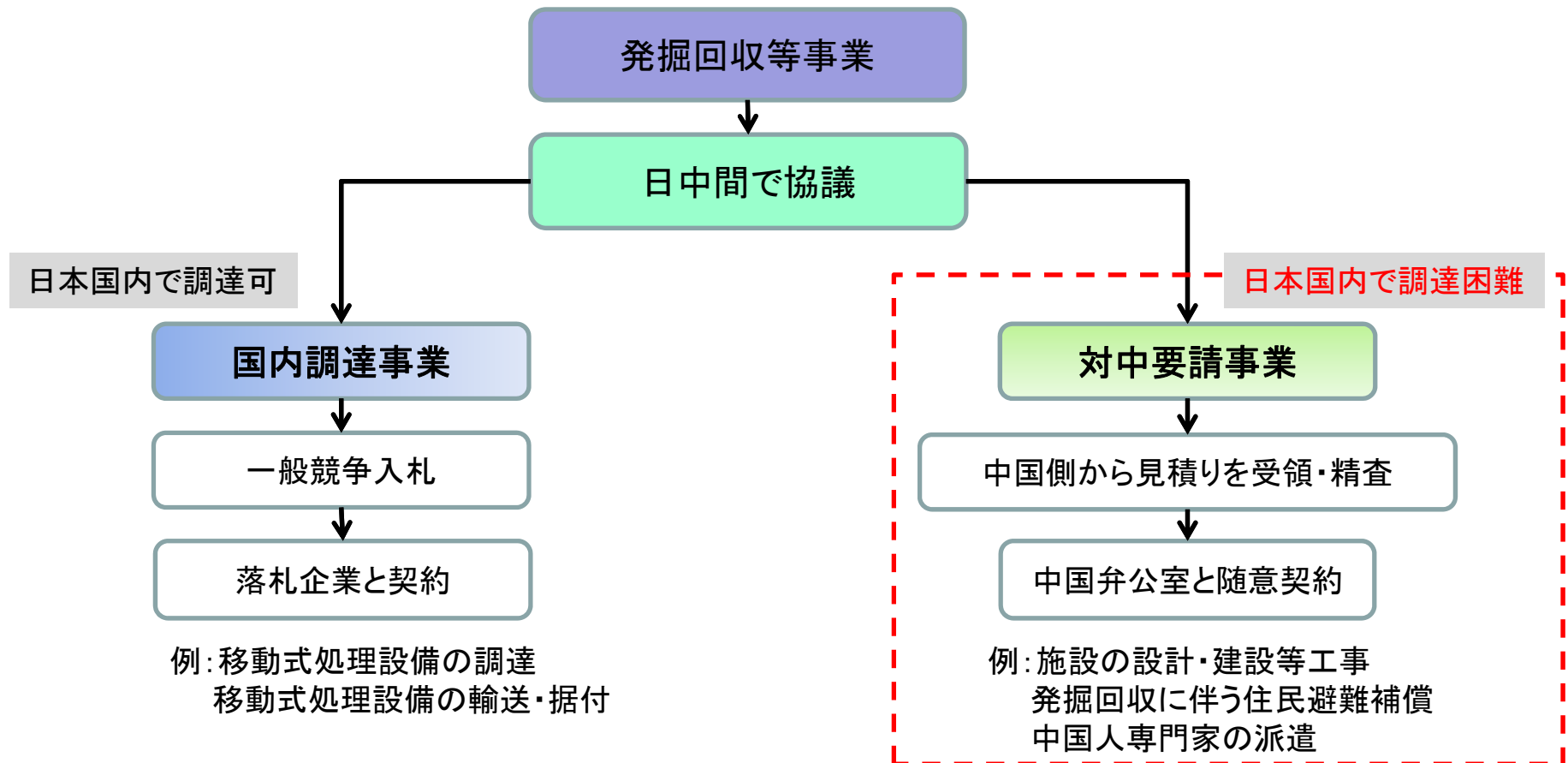
<主要な指摘事項等>

- ・一者応札が継続する事業の競争性を高めるための取組み
- ・再委託の見直しによる競争性の向上
- ・ノウハウの蓄積を考慮した予定価格の作成とそれを踏まえた価格交渉の実施
- ・一般管理費の積算の妥当性の検証
- ・海外企業の参入による競争性の向上

- ・公開プロセスにおける指摘事項等を踏まえ、各種取組及び検討を実施しているところ。
- ・主要な指摘事項等のうち、【一者応札が継続する事業の競争性を高めるための取組み】以外の事項については、これまでの取組を継続して実施していくこととする。

(2) 対中要請事業

日本側が直接実施することが困難又は非効率な事業、及び中国の法律等により日本での調達
が困難な事業については、中国政府にその事業の実施を依頼し、中国政府からの請求に基づき、
日本側から中国政府に所要経費の支払を行っている。



○ 2020年度(令和2年度)契約状況 …… 別紙4

(1) 対中要請事業の見直し

対中要請事業については、あくまでも日本側で実施・調達が困難であるものに限定しているところであり、常に精査を行い、日本側で実施・調達が可能であることが明らかとなったものについては、国内調達事業として実施しているところ。具体例については以下のとおり。

- ・ 高機動型廃棄処理設備・施設関連工事
- ・ 移動式廃棄処理における危険廃棄物・汚染物の保管・管理
- ・ ハルビン処理場における指揮所車両の借り上げ
- ・ ハルバ嶺における発掘・回収用機材(砲弾運搬車、各種用具)の調達

なお、2020年度の対中要請事業は、約135億円(対前年度比159億円減)であり、構成比率は39.1%(対前年度比30.2%減)。

(2) 契約方式

日本側との交渉等の窓口として、中国外交部に日本遺棄化学兵器問題処理弁公室(以下「弁公室」という。)を設置しており、日本側からの対中要請事業は、全て、弁公室に対して行うこととし、随意契約により実施。

弁公室との随意契約は、年度開始前に内閣府随意契約審査委員会にて包括協議し承認を得ている。

(参考)

- ・契約の性質又は目的が競争を許さない場合(会計法第29条の3第4項)
- ・外国で契約をするとき(会計法第29条の3第5項及び予算決算及び会計令第99条第15号)
- ・条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの
(財務大臣通知根拠区分(「公共調達の適正化について」(2)①イ(ロ)))

(3) 契約金額の適正性

遺棄化学兵器処理の各事業は、日中の担当者間で事業の規模や費用の適正性等について、合理的に検討・精査するなどの協議を行い、予算書(いわゆる予定価格)を定めた上で、中国側により、原則、入札を行い実施している。

2020年度(令和2年度)契約状況(対中要請事業)

番号	契約件名等	契約日	件数	契約額	契約相手方	契約方式等
1	ハルビン移動式処理事業	令和2年4月1日 他	5	374,373,349円	中華人民共和国 外交部日本遺棄 化学兵器問題処 理弁公室	随意契約(条約 等の国際的取決 めにより、契約 の相手方が一に 定められている もの)
2	石家荘移動式処理事業	令和2年4月1日 他	2	273,811,565円	中華人民共和国 外交部日本遺棄 化学兵器問題処 理弁公室	随意契約(条約 等の国際的取決 めにより、契約 の相手方が一に 定められている もの)
3	遺棄化学兵器処理事業一時輸入品の 手続き	令和2年4月1日	1	32,060,894円	中華人民共和国 外交部日本遺棄 化学兵器問題処 理弁公室	随意契約(条約 等の国際的取決 めにより、契約 の相手方が一に 定められている もの)
4	遺棄化学兵器等の保管業務等	令和2年4月1日	1	302,122,110円	中華人民共和国 外交部日本遺棄 化学兵器問題処 理弁公室	随意契約(条約 等の国際的取決 めにより、契約 の相手方が一に 定められている もの)
5	移動式処理事業	令和2年4月1日 他	4	581,412,703円	中華人民共和国 外交部日本遺棄 化学兵器問題処 理弁公室	随意契約(条約 等の国際的取決 めにより、契約 の相手方が一に 定められている もの)

番号	契約件名等	契約日	件数	契約額	契約相手方	契約方式等
6	遺棄化学兵器の輸送に係る専用輸送車両の製造	令和2年4月1日 <令和3年3月31日変更>	1	151,867,860円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）
7	ハルバ嶺事業関連施設管理・運営	令和2年4月1日 他	6	2,875,518,980円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）
8	ハルバ嶺事業建設工事	令和2年4月1日 他	5	6,728,709,299円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）
9	遺棄化学兵器処理事業顧問団の配置等	令和2年4月1日	2	166,366,704円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）
10	通訳業務	令和2年4月1日	1	8,177,178円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）

番号	契約件名等	契約日	件数	契約額	契約相手方	契約方式等
11	ハルバ嶺廃棄処理事業（輸出入手続）	令和2年4月10日 他	6	1,931,642,567円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）
12	南京保管庫の砒素含有有害廃棄物最終処分に係る輸出手続き	令和3年1月8日	1	29,167,844円	中華人民共和国外交部日本遺棄化学兵器問題処理弁公室	随意契約（条約等の国際的取決めにより、契約の相手方が一に定められているもの）